

稲作だより

～第4号 田植え編～

健苗を適期移植し、初期生育を確保しよう!!

- ・5月14日発表の東北地方の1か月予報（5月16日～6月15日）では、向こう1か月の気温は高くなる見込みです。
- ・特に、5月17日頃からかなりの高温（5日間平均気温平年差+2.2℃以上）となる見込みです。

1 移植までの育苗管理

- ・育苗後期は、苗が水分を多く消費するため、十分にかん水しましょう。
- ・田植え1週間前頃からは育苗ハウス等の被覆は常時開放し、苗を外気に慣らしましょう。

2 移植のポイント 《適期に適正な栽植密度で植えよう》

- ・移植適期は5月15日～25日頃
移植は天気の良い日に行い、低温や強風時には行わないようにしましょう。
- ・植込み本数の目安は100本/m²
(70株/坪の時、4～5本/株)
極端な疎植は、収量・品質低下につながります。
気候変動に対応するために適正な栽植密度で茎数確保に努めましょう。

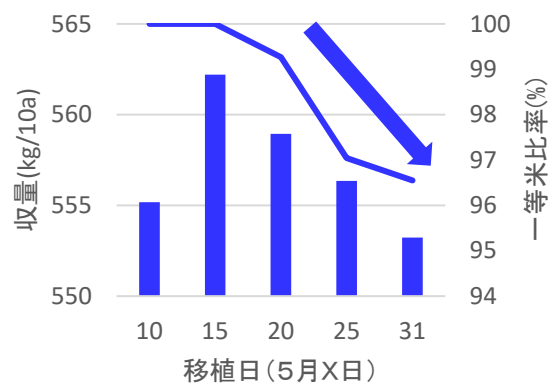


図1 移植日と収量・一等米比率の関係
(R6つや姫チェックリストより)
棒グラフ：収量
折れ線グラフ：品質

- ・適正な植え付け深は3cm程度
深植えは活着の遅れや初期分けつの発生抑制につながります。
根が露出するような植付けは、除草剤の薬害が発生しやすくなります。

3 ばか苗病の本田持ち込みを防止しましょう

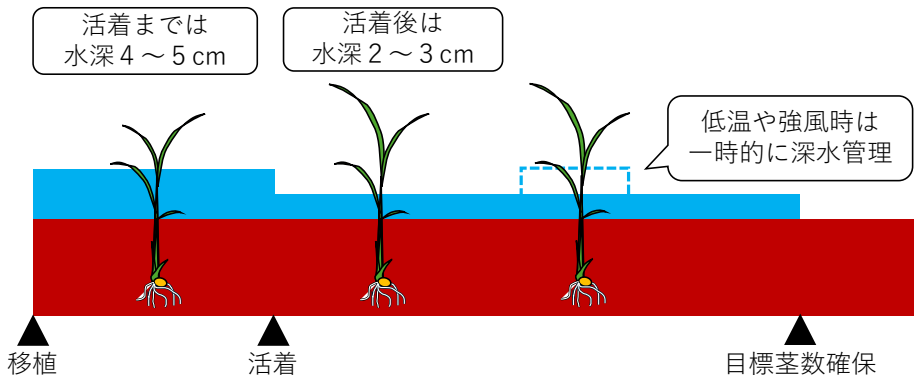
- ・ばか苗は見つけ次第抜き取り、ハウス外で適切に処分しましょう。

トラクターや田植え機についた泥は、
公道に出る前に落としましょう

4 田植え後の水管理 《活着を促す水管理を行いましょう》

- ・ 移植直後は水深 4 ～ 5 cm として、活着を促します。
- ・ 活着後は 2 ～ 3 cm の浅水とし、分げつの発生を促します。
- ・ 低温時や強風の時には、深水(水深 4 ～ 5 cm) とします。

[移植後の水管理]



- ・ 大切な用水なので、土地改良区等の情報を基に、適正にかん水しましょう。

5 除草剤の適正使用 《使用基準、使用適期を守ろう》

- ・ 散布後 7 日間は止め水し、田面を露出させないようにします。

※田植同時処理を行う場合には、使用時期に「移植時」の適用がある除草剤を使用します。

6 葉いもち対策

- ・ 箱施用剤は適正量を施用しましょう。
- ・ 取置苗は葉いもちの発生源となるため、速やかに撤去しましょう。

7 Agrilook®「適期作業カレンダー」を使ってみよう！

- ・ 「適期作業カレンダー」では圃場を選択して品種・移植日・移植時葉齢を入力することで、中干しの開始時期や出穂期等を予測できます。
- ・ 約4週間後までの気温予報がこの予測に反映されるので、最新の情報をもとに、作業計画を立てることができます。
- ・ 詳細は普及課にお問い合わせください。

| 1月6日現在の生育ステージ | 出穂前218日頃 |
|-----------------------|------------|
| 管理・生育ステージ | 作業適期の予測結果 |
| 移植日 | 5/15 |
| 茎数を確認し、中干し開始を判断(8葉期頃) | 6/22頃 |
| 穂肥適期 | 7/14～7/19頃 |
| 湛水(花水)に切り替え(出穂期3日前頃) | 8/10頃 |
| 出穂期 | 8/13頃 |
| 斑点米カメムシ類防除(穂揃期) | 8/16頃 |
| 斑点米カメムシ類防除(穂揃期後7～10日) | 8/23～8/26頃 |
| 落水(出穂後30日以降) | 9/12頃 |
| 刈取適期 | |

☆春の農作業事故防止啓発運動展開中(4月1日～6月10日)

地域ぐるみでSTOP! 農作業事故!

【発行】 村山総合支庁北村山農業技術普及課 TEL0237-47-8634, 8635, 8636, 8637